

「保育者の自己評価のためのチェックリスト」【結果報告】

自己評価実施日：令和6年9月16日

この自己評価は、個々の保育教諭等が子どもの理解を基盤に保育を振り返り、自分の保育の良さや課題を捉えて、次の保育に活かしていくために行うことが目的です。

それぞれの設問のまに「あなたは」をつけてお答えください。

「良く出来ていると思ったこと」「これからの課題と思ったこと」は、自分自身のこととして、思っていることを記入してください。

【評価方法】当てはまる欄に○印をつけてください。

- A：十分できている（十分理解できている） B：ほぼできている（理解している）
C：あまりできていない（やや努力が必要） D：ほとんどできていない（努力が必要）

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

	設 問	A	B	C	D
1	幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解していますか。		5	6	
2	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」を読んだことがありますか。	1	8	2	
3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか。	7	4		
	合 計	8	17	8	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none">・法令の内容を理解し、それに沿って保育を行っている。・乳幼児期が重要な時期と思いながら、日々保育している。・乳幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培うために大切な時期であることを理解し、保育、教育に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・法令を読んだり、保育指針等を読んでいかないといけないと思う。・「認定こども園に関する法令」や「教育・保育要領」の内容を十分理解できていない部分が多い。日々の評価・反省を照らし合わせながら、理解を深める努力をしていきたい。・何か機会がないと法令や要領を読み直すことがないので、定期的に読んで、原点に戻ることが大切だと思った。・「法令」は“目を通したことがある”程度だったり、読むことはあっても理解という面ではまだまだ努力が必要と感じる。人に説明できるように、十分に理解したい。・日頃から「法令」や「教育・保育要領」を読む習慣を付けないといけないと思う。

2. 特に配慮すべき事項

(1) 教育及び保育の配慮

設 問		A	B	C	D
4	登園時の子どもの健康観察を行っていますか。	6	5		
5	子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか。		11		
6	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようになっていますか。	7	4		
合 計		13	20	0	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が分かりやすいような言葉や口調、声のトーンを心掛けている。 登園時、泣く子どもに対しては本児の気持ちに寄り添ったり、落ち着くまで抱っこしたりして、気持ちよく園生活をスタートできるように努めている。 泣く子に対して寄り添った言葉掛けを行っている。 登園時の子どもに視診や健康観察を行っている。 登園時、温かく迎え入れるようにしている。 言葉使いや穏やかに話すように心掛けている。 受け取り時は特に子どもが安心して登園できるような声掛けや関わりを心掛けている。 連絡事項や気付いたことを他の職員に伝えたり、尋ねることで情報を共有するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時々、顔の傷があったかどうか分からないことがあり、登園時の視診が大事だということに気付かされる。バタバタしていたり余裕が無かったりすると口調がきつくなってしまったと後悔することがあるので気を付けたい。 一度に泣いてしまうと保育者は側についているが、待つってもらうこともある。 注意の場面では穏やかな話し方ではないので、伝え方を工夫したい。 忙しい時に「ちょっと待って」とすぐ話を聞いてあげないこともあるので、なるべくその時に聞いてあげたい。 子ども一人ひとりの良さや課題は異なるので、どのように関わってあげれば良いかを考え、職員で話し合うこと。

(2) 健康支援

設 問		A	B	C	D
7	子どもの中に感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などをすぐに全保護者に連絡していますか。	3	6	2	
8	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしていますか。	6	5		
9	子どもの体調が悪くなったときに、保護者をはじめ園医やかかりつけ医と連絡を取るよう心掛けていますか。	5	5	1	
10	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか。	4	7		
11	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身に付けるよう、保護者との連携に努めていますか。	4	7		
12	不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか。	7	4		
合 計		29	34	3	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> その日の出来事や頑張っていたことなど、些細なことでも伝えるように心掛けている。 子どもの健康状態を観察し、体調面について保護者と細目に連 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが体調不良の時、かかりつけ医と連絡を取ることや、保護者とすぐ連絡を取ることの適切な対応法を頭に入れておきたいと思う。

携を取るようになっている。 ・保育室の換気や温度、湿度に気を付けている。 ・クラス内での感染症の周知は早目に行えていると思う。 ・クラス内で感染症が出たらすぐに知らせるようにした。体調で気になることは口頭でも伝えている。	・健康的な生活リズムは、各家庭の状況もあり、なかなか改善できないところ。 ・クラス内の感染状況や予防策など、保護者に知らせるのが遅くなったことがあったので今後気を付けたい。また、予防対策も意識して知らせていきたい。 ・感染症に関して、各クラスではその都度知らせていることが出来ているが、“全保護者に対して”という面では全体的な周知の仕方を検討していきたい。(掲示する場所、イロドリンクで知らせるのはどういう場合かなど) ・これから冬に向けてこれまで以上に換気に注意していきたい。 ・不審者対応が新園舎になって、対応の仕方、パターンが各々あるので、理解してすぐに対応できるようにしたい。 (・不審者侵入に対する対応として、裏の方にカメラを設置済)
---	---

(3) 食育

	設 問	A	B	C	D
13	子どもの体調に応じ、食事の量を調節したり、食べ物を残したり偏食したりするときは、過度に叱らないように心掛けていますか。	7	4		
14	その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか。	8	3		
15	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成していますか。	5	5	1	
16	食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携して、除去食を取れ入れるなどの配慮をしていますか。	8	3		
合 計		28	15	1	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な物がある時や眠たくなってしまった時などは、無理強いせず食べられる量を子どもに尋ねたりしながら量を調節している。 ・完食を目標とせず、その日のメニューや、子ども一人ひとりの体調や苦手な物を把握し、楽しい食事を心掛けて対応するようにしている。 ・子どもの食べ具合を保護者に伝えている。 ・完食を目標にしないようにしつつ、苦手な物に挑戦した時はその意欲を認めるようにしている。 ・子どもの苦手な食材に対しては、無理なく食べられるように声掛けや対応に気を付けている。 ・食事に関して子ども達にどのように伝えるか、食べ物に対してどのように向き合うのかは、その子のケースによって考えることが出来ていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある子どもへの食時の提供は、栄養士やクラス職員としっかり連携を取って行っていきたい。 ・気になる子への偏食への対応が難しい。 ・無理に食べさせないようにしているが、あまりにも摂取量が少ない時の対応には難しさを感じる。 ・食育の計画はマナーや食具の使い方に重点を置いていた。 ・苦手な物にも挑戦し、少しでも食べることができるような言葉掛けの工夫。食事に時間のかかる子への言葉かけ。 ・“楽しく食べる”という部分で、食事のスタイル(場所、人)を工夫していけたらと思う。また、行事食や季節の食材をもっと知らせていきたい。 ・姿勢が大きく崩れる子が多く、スプーンを床や足につけて遊んだり、寝転がるような姿勢になってしまう子がいる。座ること、集中して食事を摂ることが苦手な子が増えていると感じる。

(4) 特別支援教育・障がい児(配慮を必要とする子)保育

	設 問	A	B	C	D
17	障がいのある(配慮を必要とする)子どもの保育について、園で定期的に話し合う機会を持ったり、子どもに合わせた個別指導計画を立てていますか。	6	3	2	
18	障がいのない子どもも障がいのある(配慮を必要とする)子どもも、お互いの良さを感じ取るように保育の配慮をしていますか。	3	5	3	
19	特別支援教育、障がい児保育などに関する研修に、他のテーマの研修と同じように自ら進んで参加していますか。		3	7	1

20	療育・医療機関などの専門機関から、子どもの障がいについて、必要に応じて助言を受けていますか。	3	7	1	
21	障がいのある（配慮を必要とする）子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるよう努めていますか。	1	5	5	
合計		13	23	18	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を必要とする子どもへの対応として、大人の都合に合わせるのではなく、子どもにとってより良い方法を考えるよう心掛けている。 ・巡回相談や療育機関との連携。 ・職員間で意見交換したり、難しいことは上司や臨床心理士に相談している。 ・少しでもその子と1対1の時間（話したり遊んだり）を持てるよう心掛けている。 ・配慮を必要とする子のペースで、クラスで過ごせるようにしている。 ・子どもの育ちや成長を長い期間で振り返ることで、変化したこと、成長したことを考えることが出来た。 ・支援の必要な子、発達が気になる子に対して、自分自身がその都度勉強を重ね、クラス担任とどのように対応していくかを話し合っていける環境作りが出来ていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教室や障がい児保育などの研修に、もっと積極的に参加してみたい。 ・配慮が必要な子に対する接し方、対応の仕方の難しさを感じる。 ・配慮を必要とする子が増え、対応もその子によって違い、難しさや迷うことが多い。臨床心理士や他職員のアドバイスをもらいながら、対応の仕方や子ども理解に努めていきたい。 ・自ら研修には参加していないが、情報は集めるようにしているので、それを保育で役立てたい。 ・保護者との関係作り、連携。 ・子どもの様子をしっかりと伝えられている子とそうでない子といるので、保護者との連携を密に取っていきたい。 ・一人ひとり異なるが、様々な特性を持つ子の育ちを学び、実践したい。 ・未熟な部分が多く、保護者とのやりとりも今後もっと気軽に、しっかりできるようにしていきたい。

第2章 子どもの発達

	設 問	A	B	C	D
22	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	4	6	1	
23	子どもの人権や一人ひとりの個人差を尊重して、保育をしていますか。	2	8	1	
24	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	1	4	6	
25	園の生活になじみにくい子どもに対して、一人ひとりに応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか。	2	7	2	
合計		9	25	10	

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせた保育、援助を心掛けている。 ・子どもが興味や関心を示す保育の提供を行っている。 ・一人ひとりと向き合う時間が一日数分ずつでも作れていると思う。 ・保育を見直し、良かった点、失敗した点などを振り返ることで、次に生かせるようにすること。 ・“人権”を意識しながら子どもと関わるように心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと子ども達と関わり、一人ひとりの特性や性格を知ってきたい。 ・子どもの育ちを見る目や子どもの人権についてまだまだ不十分なところがある。日々の保育を振り返り改善できるようにしたい。 ・心に余裕をもって子どもと向き合っていく努力。 ・一人ひとりに応じた適切な援助及び環境構成。 ・時間や物の制限を子ども達の意に反する形で行うことがあるので、折り合いをつけることが難しいと思った。 ・子ども達が自分の意思で判断して動けるような環境について考えてみたい。 ・主体的に関わる環境作りをもっと日々の保育の中で作っていく必要がある。（頭では色々考えるだけで終わってしまっている）

第3章 「ねらい」及び「内容」

1. 保育内容「健康」

	設 問	A	B	C	D
26	一人ひとりの子どもが明るく伸び伸びと遊べるよう、いつも見守っていますか。	5	6		
27	健康的な生活のリズムを身に付けるよう、一日の保育の時間配分や家庭との連携を取っていますか。	3	6	2	
28	食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしていますか。	6	5		
29	生活に必要な習慣が身に付くよう、家庭との連携に努めていますか。	3	8		
30	災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害を想定した避難訓練も行っていますか。	6	5		
合 計		23	30	2	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身に付き自分でできるようになる時期なので、意欲を大切にしながら保育を行っている。 ・食時や睡眠、遊びや休息など、生活リズムが整っていくように家庭との連携をしっかりと取るようにしている。 ・パンツトレーニングは意向や様子を話しながら進められていると思う。 ・特に戸外あそびでは、伸び伸びと体を動かして楽しめるようにしている。 ・手洗い、消毒などの声掛けは細目にしている。また、手洗いの仕方をその都度知らせたり、絵本や紙芝居などのお話の中で伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子や園での様子を伝え合い、もっと情報共有を行いたい。 ・排泄後の手洗いをしっかりと知らせたい。 ・各家庭に合わせて保育の時間配分を変えていないので、どういう配慮が必要か考えたい。 ・保護者との連携を大切にしたい。 ・災害に備え、どのように対応したら良いのか考えていきたい。

2. 保育内容「人間関係」

	設 問	A	B	C	D
31	自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その後達成感を味わえるように配慮していますか。	5	6		
32	友達と積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしていますか。	5	6		
33	良いことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動できるよう援助していますか。	4	7		
34	高齢者をはじめ、地域の方々などに親しみを持つような機会を保育に取り入れていますか。		2	4	5
合 計		14	21	4	5

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の関わりを大切に、関わり方や言葉での伝え方を繰り返し伝えている。 ・身の周りのことは、その子ができる範囲で取り組めるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩などを通して地域の方々などに親しみを持つ機会をつくる。 ・高齢者や地域の方々との交流の場が作れていない。

<p>し、それが習慣付くようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちや自分の行動について、自分で考える時間をできるだけ作るようにしている。 ・子どもの自分でしようとする意欲や、大事に関わることを心掛けている。 ・手伝い過ぎず、自分でやりたい気持ちを尊重することや、失敗を振り返って共に気付き考えるようにする。 ・自分が正しいと思い込んでいることを押し付けることがないよう、常に意識して声掛けをしている。また、大人の感覚で考えすぎないよう、子ども達個々の感覚を、様子を見て理解できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者とは今後触れ合って遊んだり、散歩でお互い顔を見せ合うことができたら良いと思う。
---	--

3. 保育内容「環境」

	設 問	A	B	C	D
35	子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さに気付くように援助していますか。	2	7	2	
36	園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか。		6	5	
37	身近な動植物を飼育・栽培する中で、それを可愛がったり、いたわったりする体験を大切にしていますか。	1	6	3	1
38	数量や図形などに関心を持つよう、生活の中で数を数えたり、形を意識するなど、工夫して保育していますか。	2	8	1	
合 計		5	27	11	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの小さな気付きや発見を大切にしている。 ・子どもが自然や生き物に興味を持てるように、季節の虫や花、自然物（朝顔、まつぼっくり、どんぐりなど）を準備し、実物を見たり触れたりできるようにしている。 ・数・色・形を一緒に考え、自然と知ることが出来るようにしている。 ・季節の草花に触れたり天気や空の様子や変化など、話すように心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色を覚えられるような活動を取り入れていきたい。 ・子どもが主体的に関わる環境作り。 ・自然物に触れ合う機会を積極的に作れなかったので、広場を活用したい。 ・今年はまだ花や野菜を育てる体験ができていないので、冬野菜からできれば良いと思う。 ・動植物の飼育の面で、自分自身が積極的に行っていく必要がある。 ・動植物の飼育、栽培を取り入れ、子ども達への体験へとつなげていきたい。 ・自然について一緒にゆっくりと観察する時間を設けることができていないと感じる。 ・「環境」については、職員研修でも話し合ってきているので、今後もそれぞれが課題に思っているところを出し合い、教育・保育の充実を図っていきたい。

4. 保育内容「言葉」

	設 問	A	B	C	D
39	あなたは子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育していますか。	2	8	1	
40	子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか。	2	9		
41	「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、それを理解して使うことができるように、配慮していますか。	4	7		

42	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気づくよう心掛けていますか。	4	7		
合計		12	31	1	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに「朝何食べたの?」「誰とこども園に来たの?」など尋ね、会話するよう心掛けている。 穏やかに優しい声掛けを心掛けている。 紙芝居や絵本の読み聞かせ等、積極的に行っている。 玩具の貸し借りの対応はできている。 図書室が身近になったことで、色々な絵本をすぐに提供できるようになった。 色々な紙芝居や絵本にたくさん触れさせたいと思い、毎日読んでいる。 言葉で伝え合う楽しさを感じられるように、自分自身も言葉のやりとりを楽しみお姿を見せ、気持ちの良い言葉を使うようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの自ら発信しやすい環境作りを心掛けたい。 素話はできていない。 分からない、知らないことを、絵本や図鑑と一緒に見付ける機会を作りたい。 自分が手本となり、言葉でのやりとりを楽しみながら、相手に対する言葉使いなども知らせていきたい。 初めて見る物の方が集中して見ると思い図書館から借りてくるが、同じ絵本や紙芝居にじっくり親しむというところで、繰り返し見ることも大事にしていきたい。 早口になったり、言葉を掛ける場面もあると感じたので、意識するようしていきたい。

5. 保育内容「表現」

	設 問	A	B	C	D
43	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気付くように援助していますか。	3	6	2	
44	感動したことを伝え合う機会を作り、豊かに表現できるよう援助していますか。	1	6	4	
45	子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみをもち、楽しめるように工夫していますか。	2	2	6	1
46	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っていますか。		2	9	
合計		6	16	21	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうたったり、活動と活動の空いた時間に体操をしたり踊ったりしている。 体を動かし、歌ったり踊ったりし、子ども達と楽しむことができている。 音楽や楽器は子ども達と一緒に楽しめていると思う。 身近で分かりやすい動きや動物の真似を保育者が見せることで、真似たり、自分でもやってみようと思えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器遊びやリズムなどの活動を保育に取り入れていきたい。 表現の部分は自分の苦手なところ。絵の指導方法を学びたい。また、リズムに参加して学んだことを保育の中で取り組めるように頑張っていきたい。 普段の保育の中で“表現”の部分は苦手意識もあり、足りない分野だと感じている。発表会前だけでなく日常的に楽器に触れたり、歌う、踊るなども取り入れていく必要がある。

第4章 低年齢児の保育実施上の配慮事項

1. 乳児期の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
47	あなたは保育者として服装や身支度などにも配慮し、自らの健康と清潔を常に心掛けていますか。	5	6		
48	室内の温度や湿度の確認や換気を行い、発育及び発達の状態をよく把握したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。	2	9		

49	一人ひとりおむつを交換する度に、手洗いを徹底していますか。	2	3	5	1
50	一人ひとりの子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか。	3	8		
51	子どもの手が届く場所や床に、誤飲しそうなものがないように、十分注意を払っていますか。	6	5		
52	戸外遊びを行うなどの機会を設け、体を適度に動かす遊びや、リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れていますか。	4	7		
53	子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から園医やかかりつけ医、専門医などと連携が取れていますか。	2	5	2	2
合計		24	43	7	3

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は戸外に出て体を動かす機会を作り、出られない場合は遊戯室で体を動かす時間を作っている。 ・子どもにとって安全で安心な居場所となるように、応答的な触れ合いややりとりを大切にしている。 ・新園舎になり、戸外や遊戯室に気軽に行けるようになったので、動き足りない時は室外で身体を思いきり動かせるようにできている。 ・一人ひとりの生活リズムや発達に応じた対応をしている。 ・子どもの体調、機嫌やケガなどは、職員間で伝え合い確認し、保護者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツ交換の際慌ただしく、交換ごとの手洗いがおろそかになりがちなので、感染予防の面から気を付けていきたい。 ・自らの健康状態を整えて保育に望みたい。 ・オムツ交換などの時を含め、トイレや食事前、着替えの時に清潔を保てるように気を付けたい。

2. 満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
54	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人ひとりの発達過程に合わせて、無理なく行っていますか。	5	6		
55	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認していますか。	4	7		
56	自分でやり遂げる喜びや自信を持つことができるよう、配慮していますか。	5	5	1	
57	進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有していますか。	6	5		
合計		20	23	1	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・自分でしようとする気持ちを大切にしながら援助するよう心掛けている。 ・個人差の大きく対応も異なるため、一人ひとりの発達は大事にしている。また、個々に合った援助や声掛けを心掛けている。 ・進級時の引継ぎは簡潔にまとめ、重要事項は丁寧に伝えて、情報を共有している。 ・他と比べるのではなく、その子一人ひとりの出来ること、難しいことを理解して、声掛けや関わりを工夫する努力をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの手の届く範囲にあるものは、安全かどうか改めて確認したい。 ・誤飲しやすい物は常に気にかけてながら保育に臨みたいと思う。 ・自分でやり遂げることの喜びや自信に繋がられるような保育をしていきたい。 ・一人ひとりの発達や生活習慣の習得の違いを理解することと、それらに対する関わり方が課題と感じる。 ・生活習慣に関して“みんなやっているから”と、みんなと同じことをさせなければと思い、子ども一人ひとりが見えていないことがあるので、気を付けたい。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

	設 問	A	B	C	D
58	指導計画は「教育課程」あるいは「保育課程」などに基づいて作成していますか。	3	8		
59	指導計画には、教育及び保育の期間や子どもの生活経験、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか。	3	8		
60	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか。	2	8	1	
61	入園時期には生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか。	4	7		
62	日々の保育記録により子ども一人ひとりの発達を理解し、日々の保育記録の記入項目を職員全体で話し合っていて決めていますか。	1	7	2	1
63	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できますか。		7	4	
合 計		13	45	7	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子をしっかりと観察し指導計画を作成している。 ・「保育課程」や「年間指導計画」子どもの様子を考慮して指導計画を立てるようにしている。 ・クラス内で保育内容や子どもの様子について振り返りをし、次に繋げている。 ・年齢に合った活動を考え提供できていると思う。 ・子どもの姿を見て、保育を考えたり準備をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達に合った活動をしていきたい。 ・“日々の保育記録の記入項目を職員全体で話し合っていて決めているか”という部分でできていないので、クラス内の子どもの発達について、共通理解をする時間を作っていきたい。 ・複数担当担当児のみ書類を見返しているため、全体を把握するよう情報共有していきたい。 ・子ども達の実態を把握し、一人ひとりの発達を見通しながら、しっかり計画を立てていきたい。 ・計画、実践、反省をし、次の保育に繋がられるよう工夫していきたい。

第6章 研修と自己評価

	設 問	A	B	C	D
64	あなたは園の保育理念や基本方針を正しく述べることができますか。	2	5	4	
65	自らの判断で、園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか。		5	4	2
66	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか。	1	3	6	1
67	「教育要領」や「保育指針」「教育・保育要領」に、園の自己評価が努力義務などとして位置づけられているのを知っていますか。	4	7		
68	園の保育内容などについての自己評価の結果を公表するように努めなければならないことを知っていますか。	5	6		
合 計		12	26	14	3

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・研修などで学んだことは保育にも取り入れるようにしている。 ・自己評価をしているところ。 ・園の基本方針は度々見直している。 ・新しく学んだり、保育の現場で実践したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の保育を振り返り、質の高い保育をしていきたい。 ・保育の質を高めるための研修に積極的に参加したいと思うが、日々の保育に追われて余裕がない。 ・自己研鑽をせず日々追われているので、まずは身近な保育者の良い面を自分にも取り入れていきたい。 ・保育理念や基本方針を正しくということに自信がないので、改めて見直し、正しく述べる事が出来るように努力したい。 ・自分自身が知りたいと思ったことをネットで調べることが多い。本を読む機会がとて減った。 ・園の理念を“正しく述べる”という部分でひっかかる。しっかりと頭に入れたい。 ・もっと能動的に、積極的に自己評価について取り組みたい。

第7章 子育て支援

設 問		A	B	C	D
69	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしていますか。	4	7		
70	保護者からの相談内容などを、あなたは一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	4	7		
71	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか。	6	4	1	
72	子育てについて、地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を図り、地域の人材の積極的な活用を図るよう努めていますか。		4	6	1
73	一人ひとりの子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか。また、通告を行う園の体制を理解していますか。	3	7	1	
合 計		17	29	8	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳を通して、子どもの成長を伝え共通理解を深めたり、信頼関係を築く努力をしている。 ・保護者と送迎時に会話を交わしたり、連絡帳で情報交換を行なうよう心掛けている。 ・難しい相談は一人で答えを出さず色々な意見を聞くようにしている。 ・保護者から何か相談を受けた際は、親身になって聞くように心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と送迎時に一言でも話すようにし、保護者との関係作りを心掛けていきたい。 ・地域全体で子育てを支えていく必要があるが、人手不足や人のつながりの希薄化など、課題は多く難しい。 ・子育て支援ひろば“のびっこ”では、保護者同士の会話のきっかけや困り事を話しやすい雰囲気を作っていきたい。 ・自分自身がもっと保護者が話しやすい態度、姿勢を普段から心掛ける必要がある。特に就学に向けての知識はもっと学んでいかないといけないと感じる。 ・保護者と接点を持つ機会が少ないので、もう少し自らが話し掛ける機会を作りたい。